

広報委員長が行く！

(株) かりはな製作所

代表取締役会長会長：芟花 忠彦氏



今回は、倉庫業と防災電球や浄水器などの災害時関連製品を作られている、かりはな製作所さんへ行ってきました！

インタビューの前には倉庫見学もさせて頂き、帰りにはお土産に携帯用浄水器の「mizu-QPLUS」と「防災電球」を頂きました。



芟花さんの世界規模なお話にも、堀江広報委員長からはキャッチコピーになりそうなフレーズも飛び出していました。

2025.2.7 取材

～～インタビューの前に、倉庫の見学をさせて頂きました！～～



芟花さん

うちは倉庫業もやってるから、まずはそれをご案内します。さっきコンテナが入ってきたから通路いっぱい、これから片づけなきゃなんだけど。

堀江さん

マフラータオル（のに入った段ボール）もあるんだ。

芟花さん： いろんなのがあるよ。これはプリンターだし、これはバスボール。

堀江さん： すごいね。これは2階もあるの？

芟花さん： 2階も。ここが本社なんだけど、2階も入れて500坪くらい。他に借りてる土地もあって、そこが2000平米くらい。

堀江さん： 狛江の大資産家だ！

芟花さん： ここの（本社倉庫）奥が営業事務所になっています。それでこの辺は化粧品。ここで、箱から出して（出荷用に）セットアップするの。

堀江さん： 化粧品のセットアップとかもするんだ。じゃあ許可取ってるんだ？

芟花さん： そう。ちゃんと国から薬事法の許可も取ってるんだよ。
コントラクトパッケージって言うんですよ。説明書とか一緒にセットして送れるようにする。



苺花さん：それでここからは趣味の世界。
半分仕事で半分趣味。

堀江さん：あーバイクだ。こっちの小さいのは
補助輪がついてるんだ。

苺花さん：孫のを修理してるの。休みの時に、
その辺で乗ってるんだけど、孫たちが
好きで楽しく乗っちゃって。ここで
ちょこちょこっと部品作ったりして、
だから半分は趣味の場所。

堀江さん：この辺の機械で作るんだ？　すごいね。

苺花さん：この機械（施盤）も後で説明しますが、うちのはもう古いからさ。
でもちゃんと全部使えるんだよ。

堀江さん：これだけあると密造拳銃できるね。（笑）

苺花さん：できるよ。（笑）いや、冗談だけど。

堀江さん：（隅にあるハーレーを見て）これハーレー？

苺花さん：クリスマスにハーレーサンタクラブって言って、サンタの恰好をして、
孤児院にプレゼントを届けてあげるの。ハーレーに乗ったおじさんたち
で。

堀江さん：かっこいいね。

苺花さん：これは趣味の世界ね。じゃあ上に行きましょう。



～～倉庫の2階へ移動～～

芟花さん：この機械が「mizu-Q2000」と言って、うちの1番大きい災害用浄水器で、エンジンとポンプがついてる。あんまりバンバン（売りに）出るものではないけど、後ろの500のやつは結構出る。吸い込みホースを水の中に入れてエンジンかけるか、手動ポンプで動かす。これだと（mizu-Q2000）1時間に1tくらい浄水できる。本当の下水でやるとみんな嫌がるけど、マンホールとか溜まった雨水とかに垂らして使うと綺麗な水が供給できる。



堀江さん：エンジンだから電気いらないでしょ？

芟花さん：そうそう。エンジンと両方あるんですけどね。

これは20年くらい前に木曾の御嶽山が噴火したあと、あそこの頂上の山小屋と9合目にこれを置いたんですよ。

木曾の市役所で管理してるんだけど、ヘリで水を（山頂まで）あげるとすごいお金がかかる。じゃあ機械買っちゃえ、ということでうちの2台買ってくれて。

それで、雨水をタンクに溜めておいて、そのろ過した水で料理作るんだ、山小屋の。

堀江さん：分かる、そっちの方が全然安い。

芟花さん：ここは秘密工場。お客さんにはあんまり見せないから。

じゃあこっちが事務所なので、どうぞ座ってください。

ちなみにこれがうちの総合カタログね。

まず、うちは会社としては今年で74期目。

堀江さん：74！ 歴史あるね。

芟花さん：設立が昭和27年。資本金は50万。父方の祖父が荏原の初代社長との関係があって（下請け）仕事をこの粕江の地で始めた。



芟花さん： 当時、機械関係はどんどん伸びていったわけです。それで資金もできたから、昭和35年に市役所の真裏のここに500坪買ったんだよね。俺が幼稚園の時。

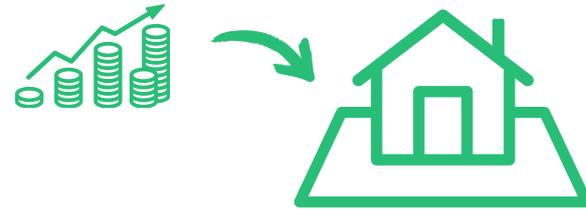
堀江さん： じゃあ芟花さんで三代目だ。

芟花さん： そう。今の社長が4代目。

俺が大学出たときは、エバラの仕事をがつつりやってたわけですよ。寝ずに仕事するぐらいあった。

だけど、うち以外の下請けの会社がね、いろいろ出てきてる頃だった。そうすると、例えば10万円のポンプの見積もりをしても、B社、C社が8万だ5万だってなると、うちは祖父が元社長と関係あって始めてるから、じゃあ芟花5万でやってくれてなるんですよ。そうすると、もう商売にならないのよ。

それで、俺が専務になったぐらいの頃だったけど、父親に「いくら荏原のつながりがあってもやっていけない。（荏原とのつながりを）切るわけではないけど。他の仕事もやっていかないと。」っていうことで倉庫業を始めた。



倉庫って、建築の構造的に工場にもできちゃうじゃない。だから勝負ってわけではないんだけど、俺が倉庫の営業役するからよ、って。そしたら倉庫はどんどん伸びていっちゃって。ポンプの下請けをやってるよりはるかに。

だからエバラの下請け分も、いい仕事だけと言うと変だけど、うちのノウハウじゃなきゃできないポンプがあったから、それだけやって、あとは倉庫やっていこうと。

堀江さん： なるほど。それで倉庫業も伸びていったと。

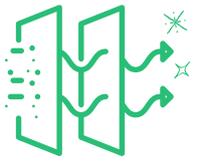
芟花さん： そんな中でエバラの設計の人とね、こんな仕事できないってかって話が舞い込んできたわけ。それが半導体の製造装置のろ過システム。



芟花さん：昔はエッチングと言う半導体の回路を刻むのに、フッ酸っていう強酸を使って作っていたわけだ。で、それを洗浄しなきゃ、ミクロン状のゴミが乗っかっちゃうともう製品にならない。だからミクロン単位のゴミを除去して、きれいな水で洗浄するんだけど、それをなんとかできないかということだったの。それでやってみたら、できたの。



だから富士通も行ったし、三菱、日本電気、大手はみんな入れた。今はやり方が変わっちゃったから、もうしていないけど。それでその中で、ふと、あれ？って思ったのが、神戸の震災前。ミクロン単位のゴミをろ過してきれいになったよな、じゃあ水は？って。



それで大腸菌細菌のサイズってどのくらいだろうと調べてみたら、全然大きい、その半導体のゴミより。じゃあ、あのフィルター使ってる過すると、大腸菌とか一般細菌取れるよなって思って。

堀江さん：思って、（浄水器）作ったんですか？

芟花さん：作ったのよ。その専用のフィルターは買ってるんだけど。

それで、災害の時ってライフラインがストップしちゃうから、じゃあ手動だよなっていうことで手動ポンプと、種類は違うんだけどNECや富士通に入れたようなフィルターの組み合わせで作ったの。

最初に、多摩川の水汲んできて検査したんだけど、まず多摩川のこんな水、飲めませんと。大腸菌いるよね、一般細菌だよな、塩分こうだよなっていう何十って検査項目があるんだけど、それが全部フィルター通して検査したら、問題なく飲めちゃうじゃんって。

ということで、そのmizu-Q1000というのを一番最初に作ったの。これが神戸の震災の後にできちゃって、タイミング的には良くなかったけど。もうちょっと前だったら良かったんだけど、震災とかはいつ来るか分からないもんね。最初全然売れなかったんだけど一生懸命売って、だんだん、それなりにになりました。



堀江さん：今、大企業っていうのは、海外で調達し、海外で作って海外で売るっていうふうにシフトしちゃった。日本の中小企業はどちらかというところと高コストで（下請けの会社は）切られていくような中で、よく乗り越えてこられた。

芟花さん：口で言うと簡単だけど、大変だった。
下請けをしていた時は、もう1年間ずっと3時間睡眠。



土日なくて。それで結局、30代で肝臓ぶっ壊した。

そんな辛いことやってても結局全然儲かかない。

その時うちは第一工場、第二工場で70人くらいいたんだよね。でも給料とかその他の経費とか、全然出やしない。それでも下請けは、メーカーから、お前のところにはもう出さないよ、って言われればもうそれで終わりでしょ。



堀江さん：今日の明日すぐなくなったりしないけど、でもまあそんな感じだよね。

芟花さん：メーカーはメーカーなりの大変さはあるんだけど、俺はメーカーになりたかった。それで（メーカーになるなら）技術があればいいんだけど、うちにはあった。うちの技術じゃないとできないすっげー難しいの。

（始めの見学中）ボロい機械、旋盤あったでしょ。そのボロい機械でやると、すごい精度が出る。

堀江さん：ああ、職人芸だ。

芟花さん：それが何でかっていうと、ベアリングって分かる？

タイヤもそうだけど、ぐるぐる回るとベアリングを使うんだけど、あの古い機械はベアリングが一個もないの。ホワイトメタルって、金属の軸受けなの。片っぱは普通の鉄で、こっちはホワイトメタル。その軸受けの鉄に油を流していくと、ゴロゴロ言わずにスーッと回るの。すごい精度がいい。昔の機械だけど馬鹿にできない。



今の（施盤）は、そのベアリングがコロコロ回ってるからさ、その振動を拾っちゃうの。まあ、何ミクロンの世界だよね。でもそれができる。その代わりに、それをコントロールして動かすのは技術がいる。腕がいる。その辺のノウハウ、実は、俺は受け継いでるんですよ。

堀江さん：素晴らしい。

芟花さん：だから、この試作なんてさ、自分で図面書いてるから、さっきの工場自分で旋盤回したり、穴あけたりして、失敗したらばい（捨てる）。図面書き直してまた、ってさ。だから自分で試作しちゃえば、とっても安くできるよね。

堀江さん：そういう技術をずっと使ってて、難しい案件が舞い込んだけど、それを成功させた。それが今のこの浄水器に繋がるわけですね。どうして災害っていうところに目つけたのかなと思ってた。大腸菌のサイズなんて分からないもんね、普通の人には。



芟花さん：もう30年近くなるのかな。これ作ったはいいけど、逆にその阪神大震災の前に開発してたら、阪神大震災では提供はできたけど、その前完成した後は、多分仕事になんなかったと思うんだよね。

堀江さん：そうだよ。でも逆に、その阪神大震災には間に合わなかったけど、その後出てきたら、だいぶ自治体とかからの引き合いっていうのは結構あったんじゃないですか。

芟花さん：まだまだ。阪神大震災はほんとに一部だけだったから、ライフラインが止まった地域は。

堀江さん：そうだね。大阪も何ともなかったね、ライフラインは。

芟花さん：揺れたから、建物はかなり被害を受けたけど、生活インフラは割と大丈夫だった。ボランティアで神戸行ったけど、1週間後には風呂も入ってた。

堀江さん：そうするとやっぱり東日本大震災後だ。

芟花さん： そうだね。だんだん防災の意識が芽生えてきたわけで。



でも結局うちはメーカー的立場だから、その当時は神奈川県は県庁全部回って、東京も区役所とか全部1人で回って。でも最初はみんな、あまりピンと来てないんだよな。

それで、消火器とか売っているような防災商社にまかせたら、やっぱり（商品を）卸す力があるんだよな。

まず東京都の福祉局がやっている、葛飾福祉工場って言ってね、障害のある人が印刷とか縫製とか作業着とかを作ってるんだけど、そこが隙間産業で防災製品を売り出そうとしてた。それでうちの商品を防災カタログに載せてくれたの！

それがきっかけで、自分で言うのも何だけど、災害浄水器のリーディングカンパニーになったの、うちが。本当かよ、って。（笑）

他にも（浄水器作ってるところ）あるんだよ、でも俺はコツコツやってただけだから気づかなかったんだけど、そう（リーディングカンパニー）なんだって。

堀江さん： 素晴らしい！

芟花さん： だから今ジャパネットたかた、モノタロウ、トラスコ中山は直接（販売商品として）出してる。

堀江さん： 確かに（浄水器を）ネットで見ると、モノタロウに出てくるよ。

でも災害用浄水器って、非常にニッチな世界だよな。その中のリーディングカンパニー。

まさに、このニッチな世界のリーディングカンパニーであるということ、会社の方針にしている大企業が日東電工。

日東電工は、グローバルニッチトップって言ってる。芟花さんのところもまさに災害浄水器における「グローバルニッチトップ」。



芟花さん： いいね、グローバルニッチトップ。使わせてもらおう。

堀江さん： でももとは荏原の下請けから？
本当によくここまでやってこられましたね。

芟花さん： 普段「ボンボンでしょう？」なんて言われたりするけど、とんでもないよ。まあそう見えるならそれも良いんだけどね。
でも俺は全部自分で図面も描いてるんだよ。そして本当にね、俺はコツコツやっていただけなんだけどね。



それで今、水の東大とも言われる信州大学の工学部と、超低圧の逆浸透膜（フィルター）を共同開発中なんだけど、これは水に溶けた重金属もろ過できるようになる。そのフィルターを信州大学が作って、それを使った浄水器をうちで作る。これは高圧ポンプが要らないんだけど、それってすごいことなんだよ。

まだ価格とかは計算できないんだけど、今ある500万とか700万とかするポンプの浄水器が、これができると10分の1くらいのコストになる。



2018年10月に国内特許も取得した
携帯型浄水器「[mizu-QPLUS](#)」



1本で350ml浄水できる
カートリッジ式



手でも明かりを点けることができる蓄電型LED電球
「[防災電球](#)」

芟花さん： この小さいの（mizu-QPLUS）は2～3千円。こっちは今日来てくれたお礼に差し上げます。あとこっちの防災電球も。

これがあると停電になったときに、パツ！と点くから。フロアに1個あるだけで全然違うよ。手で持っても点くし、このアダプターで懐中電灯にもなる。

堀江さん： これこれ！ ネットで見たの。すごい、ありがとう。

芟花さん： ちなみにこれは見本用なんだけど、これは炭を入れた水。これをこの小さいの通すと普通の水になる。飲んでみる？

堀江さん： お、いいの？



堀江さん： （試飲して）ああ、普通の水だね。

芟花さん： でしょ？ これをペットボトルにつければ、多摩川の水だって（飲んで）大丈夫だよ。

俺なんかは、（家で）お風呂の水は換えるときに抜けて言ってるんだよ。そうしたら何かあった時にもこれ使って、そこから水を確保できるから。

堀江さん： そうだよな。災害で断水軟化したときにね。

今東京では関東大震災も受けて、密集地域には電気火災を防止するための震撼ブレーカーを無償配布したり、防災とか減災機器の支援をしている。自治会に対しても30万円の補助金とか支援をしてたし。

府中・調布・狛江だと多摩川があるじゃない。だからこの小さい浄水器でも家庭に1個あるだけで、家庭の水問題はほとんど解決するよね。

芟花さん： 今、堀江さんが言ったように狛江市では、未就学児がいる家と65歳以上のいる家、そこには狛江市の防災ギフトを配布することになった。ここに載ってる。

堀江さん： この中からこれ下さい、っていうと狛江市からタダで貰えるの？

芟花さん： ギフトだから戸数の制限とかはあるけど、狛江市に申し込むと防災用品をプレゼントしてもらえる。



堀江さん：今度、私の住んでる地域での防災訓練があるの。その時に市長とかも来たりするから、狛江ではこういうことやってるよ、ってさりげなく言って、ちょっと考えてもらおうと思って。

芟花さん：狛江だけじゃなくて世田谷とかもこういうの（防災ギフトのようなもの）やってる。でも本当に、これ（mizu-QPLUS）1つあったら良いでしょ？



これなんかは今開発中の逆浸透膜の浄水器とは違って、重金属とか食紅とかのイオン化したのは除けないんだけど、大腸菌なんかは全部取ってきれいになる。



堀江さん：それこそ、その逆浸透膜の浄水器とかも、今なん百万なん千万なのが10分の1とかになるんなら、自治体とかでかって、避難場所とか防災用品置いてあるところにドンと置いとけばみんな使えるよね。

芟花さん：今サウジ（サウジアラビア）とかは、国民の飲み水がそうってる。毎時何tとかの浄水器で一気に浄水して溜めるの。アフリカとかあの辺りは水って本当に問題じゃん。



というか変な話、サウジのでかい装置とまではいなくても、必要としてる人が世界にはたくさんいるよね。

アフリカとかも井戸水飲むと変な味するとか、ヒ素が混じってて身体に影響が出るとか。TVでもよく水汲むでる子どもとか映るけど、あれ何かって言ったら、泥水みたいな水。

堀江さん：そうだよ。日本以外だと安心して水飲める国の方が少ないもんね。アジアもアメリカとかも場所によってはそうだもんね。

芟花さん：信州大学ともね、そんなかたちでやってます。まだ完成はしてないけどね。

堀江さん：下請けでウハウハ言ってた時代が終わり、苦しい時代が来てそこから方向転換し、自分たちの持っている技術でリーディングカンパニーとなり、それがさらに発展信州大学と一体になって、まさに世界的な課題を解決できるようなところにきた、っていう。夢がありますね。

芟花さん：カッコいいね、今の言い方。そんなにすごくいい会社じゃないですよ。

堀江さん：浄水器って日本ではまだまだニッチな世界で、でも今、産学連携でやっていることはグローバルで考えたら非常に市場としては（価値やニーズが）ある。

現地の一般の人たちが買うということはないだろうけれども、政府機関だとか、NPOとかそういうところでは（かりはな製作所の浄水器が）世界的シェアになっていく。

まさにグローバルニッチトップなんです。その世界におけるリーディングカンパニーであり、圧倒的なシェアを誇る形になる。

芟花さん：こんなに格好よくまとめられて、字で表したらカッコいい会社になっちゃうね。（笑）

堀江さん：いや、カッコイイ。あともう1個言うと、こういうのって大企業じゃできないんだよ。

芟花さん：そうだね、大企業じゃちょっとできないよね。

堀江さん：もちろんやれば出来るんだろうけど、やらないっていうか商売にならないもんね。彼らが足を踏み入れようとしない世界なんだよ。

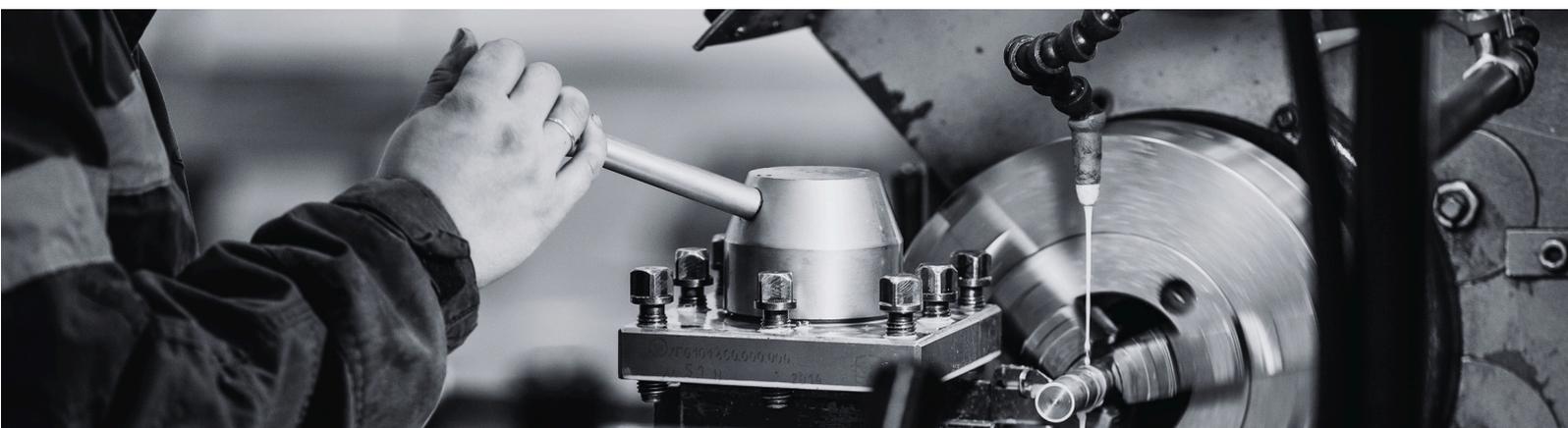
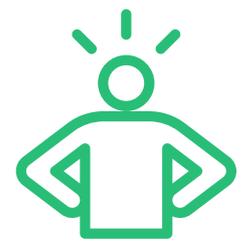
芟花さん：技術はあるんだろうけどさ。あ、でもこの関係の技術は負けない自信はある。

でも意外とここまで話したことってないね。

堀江さん：みんな知らない。

先々代は儲かった。先代まではどうにかなった。

でも3代目引き継いだら、社会情勢は一変してた。従業員も抱えてる、やばいどうしよう、というところから、持っていた資産の1つ（土地）、それを転用して倉庫業にした。そしてもう1つは技術。



芟花さん： 上手いね、文才あるね。

でも倉庫業をやったから、かりはなが潰れないで来れたってところはあるよ。だから、それも良かったんだよな。

今、本当におかげさまで伸びてる。ガーっとは全然いけないけど、こうコツコツと。食わなきゃならないけど、儲けようと思ってもダメだね。1個1円でも100万かけると100万儲かるんだからね。それをコツコツ。株でどーんと儲ける、それはそれでいいけど、仕事の場合はできない。

堀江さん： 確かに100人、1000人いれば1人くらいは株でどんと儲ける奴はとかいる。でもをれを目標にしちゃ駄目だよな。

芟花さん： 一生懸命やっても上手くいかない場合もあるけどな。

でもうちの母ちゃん（奥様）上手くなったよ（ゴルフ）。俺最近抜かれちゃうもん。こないだは83、4？

堀江さん： 80台じゃん。

芟花さん： そうだよ。俺だって上手いなと思ってたら抜かれちゃった。だから楽しくてしょうがない。

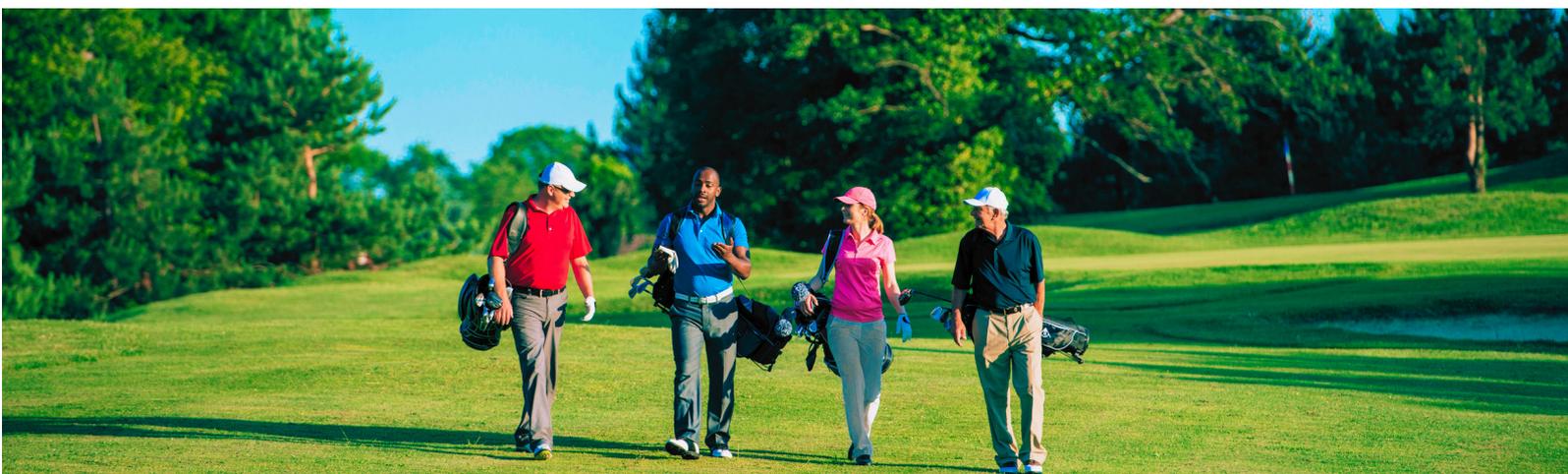
堀江さんも今度ご一緒に回れたら嬉しいです。

堀江さん： そうだよな、せっかく仲間なんですから。

でも今日は本当にありがとうございます。とっても面白い。歴史もあって。

芟花さん： 俺はこの歴史を何とかね、ずっと続けたいなと思ってさ。コツコツと。浄水器と電球もせっかく来たんだから持って行って。

じゃあ今日はありがとうございました。



Carry a dream!!

—理想の実現に向けて作る・運ぶ—

We will create unique values with new products and logistics services.
私たちは新しい商品と物流サービスで独自の価値を創造していきます。

平素より格別のご高配を賜り、誠に有難うございます。
「株式会社かりはな製作所」はおかげさまで創業70年の節目を迎えることが出来ました。これからも多くの人々が安心安全に暮らせる明るく豊かな社会の実現の一翼を担うべく、社員一丸となって努力をしております。
また、私共はこの機会に「Carry a Dream!! ～理想の実現に向けて作る・運ぶ～」をスローガンに掲げ、より多くのお客様と新しい価値を創造し、飛躍していくため、以下の3つを柱とした事業を展開していきます。

■非常用浄水器と防災製品の製造・販売

水の重要性は今後増々高まっています。私たちはポンプ製造で培った技術で、有事の際に飲み水を確保するための災害用浄水器をはじめ、災害時に命を繋ぐ製品の企画・販売を進めてまいります。

■物流委託業務

都心や港までアクセスの良い、狛江・府中に拠点を構え、これまで多くのお客様のニーズに答えて参りました。私たちの物流に関する知識は地域随一です。海外コンテナや国内貨物の荷受けから保管、出荷まで一貫性のあるサービスを皆様に提供させていただきます。

■スタートアップ企業様との取り組み

単に場所を使っただけだけでなく、私たちが70年間培ってきたノウハウと都心まで好アクセスのこの狛江で、新たな価値を創造する拠点として、物流・商品管理・販売に至るまで、お客様と共に課題解決に取り組んでいきます。

以上の事業を柱に、これまで培った資産を活かしながら、次世代に向けて新しい挑戦を続けてまいります。

代表取締役社長
芟花 英寿



各事業分野の特長と拡大(将来ビジョン)

事業領域 The core business field

社会に役立つモノづくり

The manufacturing useful for society
災害用浄水器をはじめとした人と社会から求められる製品を商品化。
■災害用浄水器/携帯型浄水器
■水問題解決のための製品/SDGs貢献製品
■フェーズフリー製品

社会に役立つモノづくり
The product useful for society

スタートアップ支援

New value creation
起業家の夢を保管し、希望を送り出す創造倉庫。
ものづくりアイデアの集積地を目指して。
■モノ・情報が集まる拠点(HAB)の提供
■効率的な物流政策の支援
■マーケティング/販路開拓のコンサルティング

倉庫・物流サービス
Depot and distribution service

新たな価値を生み出す創造倉庫
New value creation depot

物流委託サービス

Physical distribution trust service

狛江と府中の2か所の倉庫は、入荷や検品に大変便利なロケーション。お客様企業の販売拡大を支援する物流機能。
■受発注業務 入出庫・在庫管理
■流通加工(検品、値札付け、梱包、セット組、個別配送仕分け等)
*化粧品製造許可(包装・表示・保管)



事業内容

災害用浄水器の企画・製造・販売

21世紀は「水の世紀」とも呼ばれ世界的にも安全な水の確保は重要な課題です。有事の際、水道インフラに頼らない水の確保や新たな浄水システムの研究開発などユーザー目線の商品開発を目指して参ります。

倉庫・物流サービス

商品保管はもちろん、お客様の販売拡大を支援する物流機能として、情報システム(受発注業務、入出庫・在庫管理、ルート配送)および流通加工機能(検品、値札付け、梱包、セット組、個別配送仕分け等)を提供しています。
*化粧品等の梱包等の製造許可(梱包・表示・保管)取得 *2022年

フェーズフリー製品の企画・製造・販売

防災目的だけでなく購入するのではなく、日常使いの製品が非常時にも役に立つ。汎用性の高い製品の開発を進めています。

ホールセール部門

自社および提携先企業の国内外の優れた製品を販売しています。



株式会社 かりはな製作所

多くの人々が安心安全に暮らせる、明るく豊かな社会の実現を目指しています。

「Carry a dream!!」をスローガンに、

災害時関連製品販売や物流委託業務などの業務を通し、

多くのお客様と新たな価値を創造するために邁進してまいります。

本社事務所

〒201-0012 東京都狛江市中和泉3-28-1

TEL : 03-3489-5211